

外来診療の案内

令和5年9月現在

院長（兼）総合診療科部長（兼）地域医療連携室長（兼）医療安全管理室長 田中 修也

事務長 久永 勇一 総看護師長 寺師 真理子

〔診療科部長〕 呼吸器内科部長 中塩屋 二郎 小児科部長 水流 尚志 脳神経内科部長 有村 仁志

第一循環器内科部長 吉野 聡史

第二循環器内科部長 藺田 剛嗣

診療科	月	火	水	木	金
内科（午前）	末永 勝士	日高 将気	吉嶺 光太郎	日高 将気	吉嶺 光太郎
リウマチ・ 膠原病外来（終日）				駿河 幸男	
糖尿病外来（終日）			福重 恵利子		
肝臓外来（終日）			長谷川 将 （第2、4週）		
生活習慣病 予防健診・ドック		宇都 寛高		吉嶺 光太郎	
呼吸器内科（午前）	田中 修也	田中 修也	田中 修也	田中 修也	田中 修也
	中塩屋 二郎	中塩屋 二郎		宇都 寛高	中塩屋 二郎
呼吸器外科（午前）		青木 雅也			
循環器内科（終日）	吉野 聡史		吉野 聡史		吉野 聡史
	藺田 剛嗣			藺田 剛嗣	
		内門 義博			内門 義博
脳神経内科	午前	有村 仁志	有村 仁志	有村 仁志	有村 仁志
	午後		もの忘れ認知症外来	脳ドック	
脳神経外科					鹿大応援医師 （第2、4週）
小児科	午前	水流 尚志	水流 尚志	水流 尚志	水流 尚志
	午後	今塩屋 聡伸	今塩屋 聡伸	今塩屋 聡伸	今塩屋 聡伸
		初診・再診受付 14時～16時	健診・予防接種 13時30分～15時	初診・再診受付14時～16時	心エコー検査 応援医師（第4週）
			初診・再診受付 15時～16時		
放射線科（読影のみ）		応援医師（終日）			応援医師（午前）
腹部エコー	午前		検査室	検査室	検査室
心エコー		内門 義博	吉野 聡史	藺田（第1・3・5週） 内門（第2・4週）	吉野 聡史
頸部エコー				放射線部（午後） 脳ドック	有村 仁志（午後） 第3週は不可
シンチ	終日	脳血流シンチ	骨シンチ	心筋シンチ	腫瘍シンチ/骨シンチ
内視鏡	午前/上部消化管		末永 勝士		軸屋 賢一
	午後/下部消化管		重田浩一朗 脇黒 薫		軸屋 賢一
気管支鏡	午後			呼吸器内科医師	
CT・MRI	終日	終日	終日	終日	終日

鹿児島県立北薩病院

〒895-2526 鹿児島県伊佐市大口宮人502-4

TEL : 0995-22-8511 FAX : 0995-22-6785

0995-22-9397 (地域医療連携室)

Mail : hok-hos@pref.kagoshima.lg.jp

※受診について、小児科以外は原則予約制となっています。待ち時間短縮のため、電話での予約をお願いします。
○電話予約：午後2～5時まで



さざんか

～県立北薩病院だより～

9月号
No.212



もしものために
「人生会議」



○ 人生会議（アドバンス・ケア・プランニング（ACP））について

皆さんは「アドバンス・ケア・プランニング（ACP）」という言葉をご存じですか？
これは、自分が希望する医療やケアを受けるために、大切にしていることや望んでいること、どこで、どのような医療・ケアを受けたいかを自ら考え、家族・周囲の信頼する人たち、医療スタッフらと共に話し合う取組のことを言います。

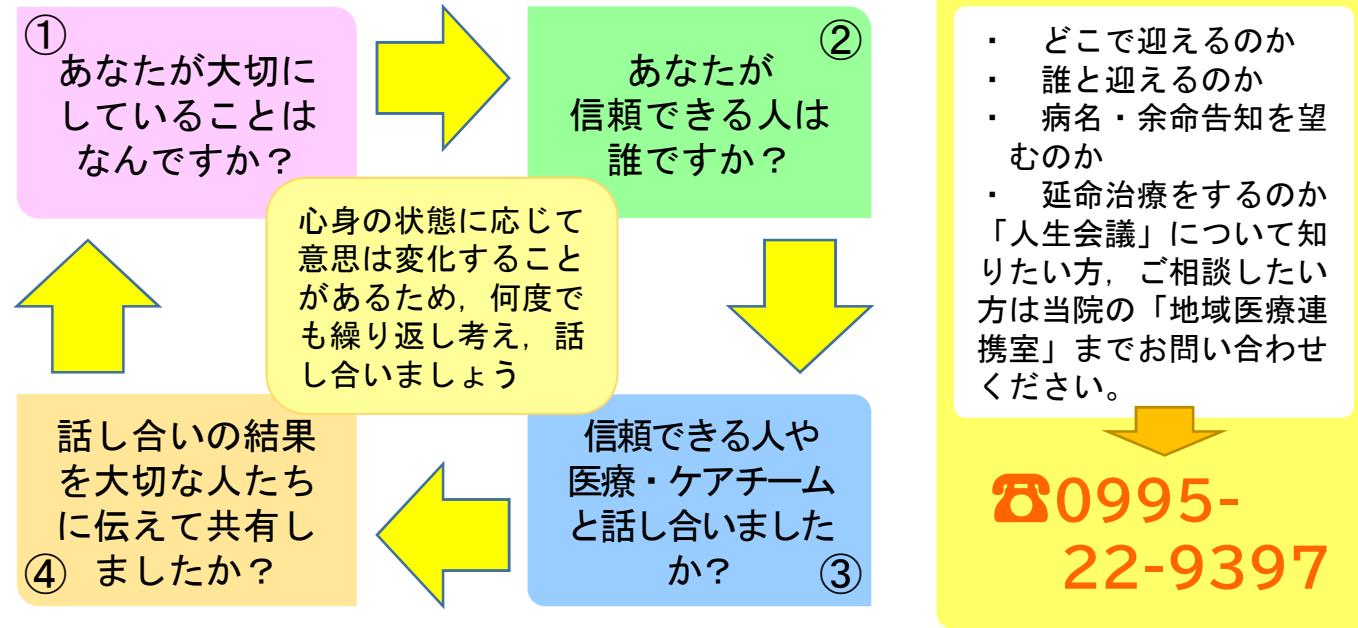
厚生労働省は、「アドバンス・ケア・プランニング（ACP）」の愛称を「人生会議」に決定するとともに、毎年11月30日（いい看取り・看取られ）を「人生会議の日」とし、人生の最終段階における医療・ケアについて考える日としています。

人は、誰でも、いつでも、命に関わる大きな病気やけがをする可能性があり、命の危機や認知症等で約70%の方が、医療・ケアなどを自分で決めたり、望みを人に伝えることができなくなってしまうと言われています。

個人の価値観や大切にしていること、どんな生活や生き方を望んでいるなどを前もって考え、相談・共有し、繰り返し話し合うことが大切です。

もちろん全ての方が「人生会議」をしなくてはならないというわけではありませんが、「人生会議」を重ねることで、あなたが自分の意思や気持ちを話せなくなった「もしものとき」にあなたの心を伝えることができ、また、大切な人の心の負担を軽くすることにつながります。

人生の終わりまであなたはどのように過ごしたいのか、まずはあなたのご家族や信頼する人と一緒に考えてみませんか？



○ リハビリテーションについて

リハビリテーションとは、基本的な動作や歩行、日常生活動作などの運動機能や動作能力の機能回復を通して、日常生活や在宅生活への復帰、仕事・スポーツ活動への復帰を目指すために、一人一人の患者さんの状態に応じて、運動療法、物理療法、日常生活動作練習、装具療法などを組み合わせて行う活動のことです。また、日常生活や社会生活に支障をきたさないために行う活動もリハビリテーションの一部です。

患者さんの抱える問題を、心身の機能や状況、生活環境、社会的環境など様々な視点から評価し、一人一人の目標に向けて理学療法、作業療法、言語聴覚療法を始めとした様々な手段を用いて支援します。

理学療法士は
PT (Physical Therapist)
とも呼ばれます。

○ 理学療法士

- 理学療法とは
理学療法とは、病気、けが、高齢、障害などによって運動機能が低下した状態にある人々に対し、運動機能の維持・改善を目的に運動、電気治療、手技など様々な手段を用いて行われる療法です。

理学療法士 動作・運動のプロフェッショナル！

私たちは、生活する上で、呼吸する、立つ、歩く、座る、起き上がる、寝返るといった基本的な動作を行っています。理学療法士は、怪我や疾患などで身体に問題や障害が生じている、予測される患者さんに対して、日常生活における動作について、能力の回復・維持、悪化の予防を支援します。



前号から院内の各部署や働いている職種の紹介をしています。
第2回は「理学療法士」、「作業療法士」、「言語聴覚士」
についてご紹介します。



言語聴覚士は
ST (Speech-Language-Hearing Therapist)
とも呼ばれます。

○ 言語聴覚士

- 言語聴覚療法
ことばによるコミュニケーションには言語、聴覚、発声・発音、認知などの様々な機能が関係しています。しかし、病気や交通事故、発達上の問題などでこのような機能が損なわれることがあります。
言語聴覚療法は、ことばによるコミュニケーションに障害がある方を対象に、ことばを話すときに必要な呼吸機能や唇や舌といった発声・発音器官の運動を通じて、生活の質を高めるための支援をするリハビリの一部です。また、嚥下機能に障害のある方への支援も行っています。

言語聴覚療法士 話す、聞く、食べるのスペシャリスト！

言語障害(失語症、構音障害、高次脳機能障害)や聴覚障害、ことばの発達の遅れ、声や発音の障害など、ことばによるコミュニケーションの問題は多岐にわたります。言語聴覚士はこうした問題の本質や発現メカニズムを明らかにし、対処法を見出すために検査・評価を行い、必要に応じて訓練、指導、助言などの援助を行う専門職です。さらに医師や歯科医師の指示のもと、嚥下訓練や人工内耳の調整なども行います。



作業療法士は
OT (Occupational Therapist)
とも呼ばれます。

○ 作業療法士

- 作業療法とは
作業療法とは、心身に障害を持つ方に対して、食事や入浴、料理など、日常生活に必要な応用的動作の訓練を行うほか、社会参加・復帰を目的とした精神面のケアなどを行う療法です。

作業療法士 イキイキと自立した生活をサポート！

病気になり始めた時期から回復に向かう時期にかけて、「このような動作ができるようになりたい」、「このような生活を送りたい」など、患者さん自身の希望を重要視した訓練等を行います。社会の中で自立して生きるために、また、その人らしく豊かな生活を送ることができるよう、生活の方法を共に考え練習していきます。